

会 報

No. 133 2014年(平成26年 2月6日)

サポート・トレッキング・グループ

事務局 呉市焼山政敵1-12-13

ホームページ サポート・トレッキング・グループ

☎・Fax兼用 0823-33-5836

- 1.1月17日 資材を担いで中国自然歩道 野外活動センターから上山へ
- 2.1月18日 中国自然歩道 烏帽子岩山～野外活動センター 登山路整備(持参の角材など使用) 作業中に鍛錬登山の若い人・アベック・老人と出会う
- 3.1月19日 RCC TV 当会の例会を4人で取材(4時間)を3分間に圧縮して放送 会報に蛍光ペンで印をして発送するも、見られた人が少ないのに驚く。

中国自然歩道 深山の滝～二艘木 大屋川にかけている橋(天狗城山へ) 橋げたに倒木・落ち葉がべっとり 橋の袂が宙に浮いて通行不能の為 現場の木で応急手当 ハイカー多数と会う

- 4.1月20日 前日の橋 川底を掘り、川の中の石を移動、護岸に半丸太2本を打ち込み、持参の資材で橋の補強 宮岡(奈) 宮岡

1/20 朝7時頃 RCC TVで前日の再放送を見た人から聞く

- 5.1月21日 平成26年ひろしま「山の日」打ち合わせ 中国木材で 林課長(人事・総務)と ところ 野呂山高原ロッジ横にて 山のグランドワーク 丸太切り ネーチャーゲーム と き 平成26年6月1日(日) 主に森林の中に生えている竹の伐採

- 6.1月23日 中国自然歩道 大庭山 水路づくり 登山の老人2組に出会う
- 7.1月26日 〃 大庭山～八畳岩～神山 倒木伐採作業 直径20～35cm 9本切断
- 8.2月1日 〃 大庭山～八畳岩 階段・水路の補修に番線10本で固定。麓の児童4人と大人2人が「探検隊」として調査登山に来たと聞き「自然歩道」を説明したら喜び真剣にメモに記録した

9.2月 2日(日) 例会

整備箇所 中国自然歩道 深山の滝～二艘木の手前(烏帽子岩山ルート9km) エボシイワヤマ

参加者 石橋 兼田 檀上 柱野 濱崎 八條 広兼 福馬 松浦 宮岡(奈) 山本 山本のお孫さん(中学生) 宮岡(泰) 男性9名 女性4名 計13名

- 整備の内容
1. 落ち葉の撤去(猪がところ構わず掘り返し歩行しにくいところもあり)
 2. ゴミの回収
 3. 横断溝の掘り下げ
 4. 天狗城山に渡る橋の整備
 5. 大屋川の流れを堰止める流木撤去
 6. 路にはみ出した枝木・倒木の撤去
 7. 「深山の滝」手前 崖上から落ちる水を止める桝の周辺の清掃(溢れた水が流れて自然歩道を削り凸凹になっている。排水管の直径が小さ過ぎる為)

○家庭の都合で休会される首藤孝子さん(阿賀)からの茶菓子休憩時に美味しく戴く

○参加2回目の中学生在が活躍してくれた。久しぶりの松浦さんは手慣れた熊手さばきに感心

○護岸をこわす、流木に手が付けられなかったが、みんなの力でやっと撤去が出来た

○川に倒れていた70cmを超える倒木は枝木を切断し、懸案の整理がやっとできた

○天気予報では、午前中は40% 午後20%の確立でしたが、雨は全く降らずヤレヤレ

○休憩場所を設定しないで、定時で休憩をとる。ノコを新調、切れ味よく作業がはかどる

10. 次回のご案内

と き・集合 平成26年3月2日日曜日 午前9時～正午 灰が峰 第二休憩所

ところ 登山道路の下～七曲り

11. 3月16日(日) 中区の広島国際会議場 「里山の今後について」 13:30～17:00

* ビールはアサヒビール

酒は西条酒を買って森林ボランティアの報奨金を増やしましょう*



橋の袂が水でえぐられて支えを失った橋



前列左から: 松浦、広兼、兼田、八條、福馬、石橋
後列左から: 山本(孫)、柱野、浜崎、壇上、山本、宮岡(奈)



現場に転がっている枯れ木と、持参の材木を使って橋を補修



補修後の当会が素人細工で作った木製橋



流れを堰き止めている流木を撤去中



大屋川の流木を除去中



大屋川の流木撤去中



路面に積もった落ち葉を熊手で掻き集めたところ



山火事で焼け残った丸太を抛り出す



焼け残った丸太を活用して階段を補修



枯れ木に埋まった横断溝



枯れ木を除去、横断溝を掘り起こす



土砂で埋まった横断溝



掘起した横断溝



倒木になった枯れ木



倒木を運べるサイズに切断



絵下山を水源とする深山の滝にて



切断前の倒木



切断前の倒木



倒木を切断



倒木を切断



切断前の倒木



切断後